

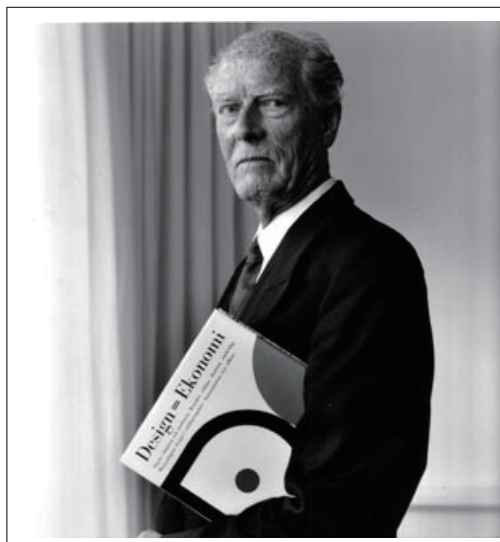
# Olle Eksell in Motion

世界の絵本から「Très Très Coquine」がお届けする  
アニメーション第四弾「**Olle Eksell in Motion**」が  
いよいよ来年1月2日からMXテレビで**毎週土曜日**  
**PM11:22~11:30 On Air**スタート!

「おてんばルル」(フランス)、「レイナレイナ」(オランダ)、「車に乗った太陽」(韓国)に続く第四弾は、北欧スウェーデンから。グラフィックデザイナーの巨匠Olle Eksell(オーレ・エクセル)のイラストの世界を新進グラフィックアニメーターであり、映像監督のMax Weintraub(マックス・ワイントラウブ)がアニメーション化。Olle Eksellが1930年代から描き続けて来た様々なイラストの世界がMotion Graphicsとして生まれ変わります。



音楽は「Olle Eksell氏が生前大好きだったJAZZのレコードをストックホルムの自宅で見せてもらってイメージを膨らませた」というピアニスト、作曲家、木原健太郎が自身のバンドVery Merry Orchestra(ベリーメリーオーケストラ)と共に、1940年代から50年代のジャズを彷彿させる音楽を新たに制作。手書き風のMotion Graphicsに合わせて生音にこだわって作りたい、と監督自ら音楽の演出も担当している。



## Olle Eksell(オーレ・エクセル) プロフィール

1918年、3月22日ダーラナ地方に生まれる。

1939年から1941年まで広告スクールで学び、1941年より4年間広告代理店に勤務。

1946年からロサンジェルスのアート・スクール・カレッジ・オブ・デザインで学ぶ。1947年から1955年まで ポニエル出版、W&W、KF等の本の装丁を数多く手がける。

1952年、AGI(Alliance Graphique Internationale)のメンバーとなる。1957年からチョコレートメーカー、マゼッティのトータルデザインプログラムを担当。

1964年、デザイン=エコノミがポニエル社から出版。

1988年、AGIコンフェレンスで初めて日本を訪れる。

75歳で視力が衰えるまで、フリーランスで精力的に活動。1999 マルメのデザインセンターにてオーレ・エクセルの展示会が開催される。  
2006年ピエブックスより日本語版「オーレ・エクセル」が出版される。  
(オーレさん生前の最後の作業となる)

2007年他界。享年89歳